嶋 上 遺 跡 群 29



2 0 0 5

高槻市教育委員会

嶋 上 遺 跡 群 29

はしがき

平成16年度も、市内各所におきまして個人住宅の建設や史跡整備等に先立ち、 埋蔵文化財の調査を実施してきました。

嶋上郡衙跡等におきましては個人住宅の建設に関わる小規模な調査を実施 していますが、各遺跡の具体的な内容や広がりを知るうえで基礎的な資料が蓄 積されています。とくに、芥川廃寺周辺では瓦類等も出土し、古代の郡衙と寺 院の関係を知る手がかりを得ることができました。

史跡今城塚古墳では、市民の歴史学習や憩いの場となることを目指して史跡 整備工事が今年度から開始されました。これに関わって後円部上面の遺存状況 などを知るために第8次規模確認調査を実施しました。

また、史跡闘鶏山古墳におきましても、くびれ部と後円部の形状や規模を把握するために第3次規模確認調査を実施したところ、前方部・後円部とも二段築成であることが確定しました。今回、明らかになった古墳各部の調査結果は平面形や立面形を復元し、闘鶏山古墳の保存と公開にむけての基礎的な資料となるものです。

最後に、本書をまとめるにあたり、ご教示やご協力いただいた関係機関をは じめ、多くの方々に心から感謝申し上げます。

平成17年3月31日

高槻市教育委員会 文化財課 課 長 竹 下 守 雄

例 言

- 1. 本書は、高槻市教育委員会が平成16年度国庫補助事業として計画、実施した高槻市所在の史跡・嶋上郡衙跡附寺跡周辺部及び市内遺跡の発掘調査事業(総額1,800,000円)の概要報告書である。
- 2. 事業は、高槻市教育委員会の直営事業として実施し、大阪府教育委員会の助力を得て、平成16 年5月10日に着手し、平成17年3月31日に終了した。
- 3.調査は、高槻市教育委員会文化財課埋蔵文化財調査センターがおこなった。本書の執筆・図 面作成・製図は、橋本久和、鐘ヶ江一朗、宮崎康雄、高橋公一、西村恵祥がおこない、分担は文 末に記した。遺構・遺物の写真撮影は清水良真が担当した。整理作業については以下の各氏か ら援助をうけた。厚く感謝する。

白銀良子、西岡和江、松下智子、栂靖代、松本信子、池田理美

(順不同・敬称略)

4. 調査の実施にあたり、以下に掲げる土地所有者の方々をはじめ、関係機関各位のご協力をいただいた。ここに記して感謝いたします。

福尾利行、井上富美子、荒木淳一、高橋潤一、郡家水利組合、素盞鳴尊神社、山本清、中川茂一、 箕内康成・さち江、久世康弘・純子、植村幸二、辻本民蔵、西本純子、川上清和、青山伸行、山本豊 (順不同・敬称略)

目 次

Ι	嶋 上 郡 衙	跡		 	 	1
II	鴨 神 社	跡		 	 	8
\coprod	中城遺	跡		 	 	9
IV	郡家本町遺	跡		 	 	10
V	郡家今城遺	跡		 	 	11
VII	高 槻 城	跡		 	 	13
X	今城塚古墳規	模確認調	査	 	 	16

No.	遺 跡 名(地区)	調査地	面積(m²)	申請者
1	嶋 上郡 衙 跡 (48-J)	川西町一丁目953—19	59.73	福尾利行
2	" (38-P)	清福寺町919—15	44.06	井 上 富美子
3		川西町一丁目1093—7	110.19	荒木淳一
4	" (68-A)	川西町一丁目1093-8	110.19	高 橋 潤 一
5	// (35−B · C)	郡家新町1138	24.25	郡家水利組合
6	// (35−C · D)	郡家新町1138	69.225	素盞鳴尊神社
7		清福寺町836-1の一部	65.37	山 本 清
8	鴨 神 社 跡(2004-1)	赤大路町11-24	86.25	中 川 茂 一
9	√ (2004−2)	赤大路町11-25	86.25	箕内康成・さち江
10	√ (2004−3)	赤大路町11-23	86.25	久世泰弘・純子
11	中 城 遺 跡(2004-1	昭和台町一丁目107	196.42	植村幸二
12	郡家本町遺跡 (2004-1	郡家本町975-1他	214.10	辻 本 民 蔵
13	郡家今城遺跡(2004-1	今城町17-3の一部	51.03	西本純子
14	宮之川原遺跡(2004-1	宮之川原元町877-1	106.51	川上清和
15	高 槻 城 跡(2004-1	野見町424-16・17	129.52	青 山 伸 行
16	天神山遺跡(2004-1	天神町二丁目973-13	90.48	山 本 豊

平成16年度 市内遺跡調査一覧



I. 嶋上郡衙跡

1. 嶋上郡衙跡 (48-J地区) の調査

調査地は高槻市川西町一丁目953-19番地に あたり、小字名は「川西北浦」である。現状は宅 地である。当該調査地周辺では古代山陽道跡等 が確認されている。

調査は個人住宅建設に伴い工事立会を実施したもので、盛土等を除去した後、土層の観察と 遺構の確認を行った。

層序は盛土(0.4m~0.6m)、暗灰色粘土(0.15 m)、暗黄灰色礫土[地山]である。地山面で精査をおこなったが、遺構・遺物は検出されなかった。 (木曽)



図1 嶋上郡衙跡調査位置図(1)

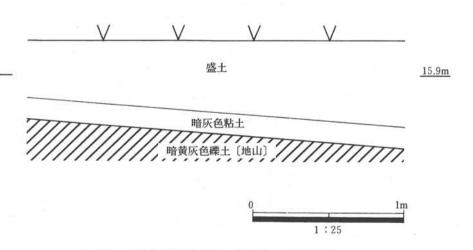


図2 嶋上郡衙跡(48-J地区)土層模式図

2. 嶋上郡衙跡 (38-P地区) の調査

調査地は高槻市清福寺町919-15番地にあたり、小字名は「川西北浦」である。現状は宅地である。当該地は市域を南北に貫く芥川西岸の段丘上にあり、周辺では古墳時代の竪穴式住居跡や 土器棺等が検出されている。

調査は個人住宅建設に伴い工事立会を実施したもので、盛土等を除去した後、土層の観察と 遺構の確認を行った。

層序は盛土(0.7m)、耕作土(0.2m)灰青色土(0.4m)、黄灰色粘土[地山]である。地山面で精査をおこなったが、遺構・遺物は検出されなかった。 (木曽)

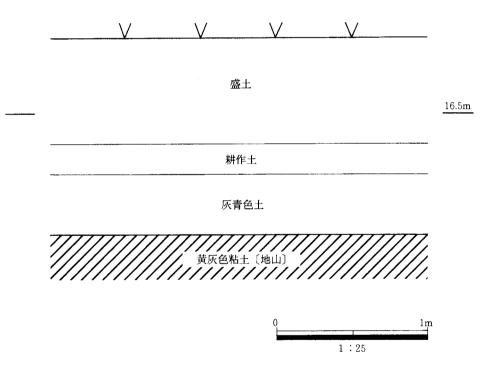


図3 嶋上郡衙跡(38-P地区)土層模式図

3. 嶋上郡衙跡 (68-A地区) の調査

調査地は高槻市川西町一丁目1093-7番地に あたり、小字名は「千原樋」である。現状は宅 地である。個人住宅建設に伴い工事立会を実 施したものである。

調査は盛土等を除去した後、土層の観察と 遺構の確認を行った。層序は盛土(1.2m)、暗 灰色土(0.3m)、黄灰色粘土[地山]である。地 山面で精査をおこなったが、遺構・遺物は検 出されなかった。 (木曽)



図 4 嶋上郡衙跡調査位置図 (2)

4. 嶋上郡衙跡 (68-A地区) の調査

調査地は高槻市川西町一丁目1093-8番地にあたり、小字名は「千原樋」である。現状は宅地である。個人住宅建設に伴い工事立会を実施したものである。

調査は盛土等を除去した後、土層の観察と遺構の確認を行った。層序は盛土(1.2m)、暗灰色 土(0.3m)、黄灰色粘土[地山]である。地山面で精査をおこなったが、遺構・遺物は検出されな かった。 (木曽)

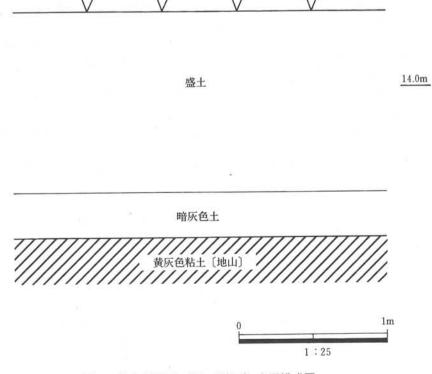


図5 嶋上郡衙跡 (68-A地区) 土層模式図

5. 嶋上郡衙跡 (35-B·C地区) の調査

調査地は高槻市郡家新町1138番地にあたり、 小字名は「高津」である。当該地は史跡指定地中 央部の素盞鳴尊神社東側にあたり、現状は農業 用水路である。水路改修工事に伴う現状変更に 先立ち発掘調査を実施した。

調査は古くなった農業用水路のヒューム管を除去した後、土層の観察と遺構の確認を行った。計画水路は東側に流れるように設計され、西端の土層①では盛土(0.35m)、黒色腐植土(0.35m)、灰褐色土[砂礫まじり・地山]である。西端部で精査を行ったが遺構は確認されな

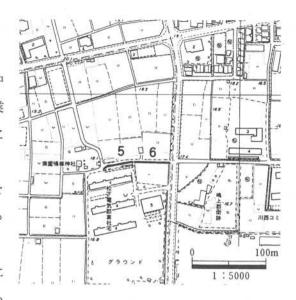


図6 嶋上郡衙跡調査位置図(3)

かった。水路中央部の土層②では黒色腐植土(0.5m)の下部に史跡周辺部でみられる遺物包含層に相当する暗褐色土が堆積している。水路東端の土層③・④も同様の層序で、東側に向けて地山が下降している。計画では水路中央部から東側では暗褐色土上面が改修後の水路底部に相当するため、暗褐色土の掘削は実施しなかった。このため調査区全体で遺構は確認されず、遺物も検出されなかった。

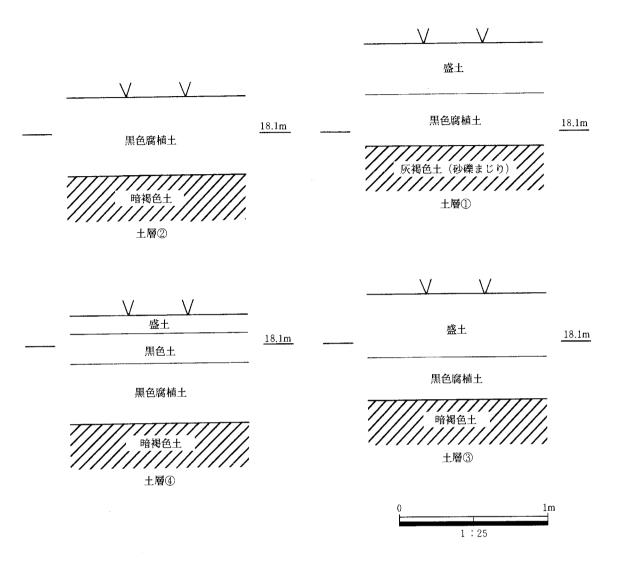


図7 嶋上郡衙跡 (35-B・C地区) 土層模式図

6. 嶋上郡衙跡 (35-C·D地区) の調査

調査地は高槻市郡家新町1138番地にあたり、小字名は「高津」である。当該地は史跡指定地中 央部の素盞鳴尊神社東側の神社参道である。参道南側法面の崩壊が著しいため擁壁設置工事が 計画され、現状変更に先立ち発掘調査を実施した。

調査は擁壁設置部に幅1mの調査坑を設定し、土層の観察と遺構の確認を行った。基本的な層序は西端の土層①から東端の土層④まで、盛土(0.2~0.3m)、黄灰色土(0.2~0.3m)、暗褐色土[遺物包含層]である。計画された擁壁底部まで暗褐色土を慎重に人力掘削したところ瓦の破片等が検出された。暗褐色土は0.3m以上堆積しており遺構は検出されなかった。 (橋本)

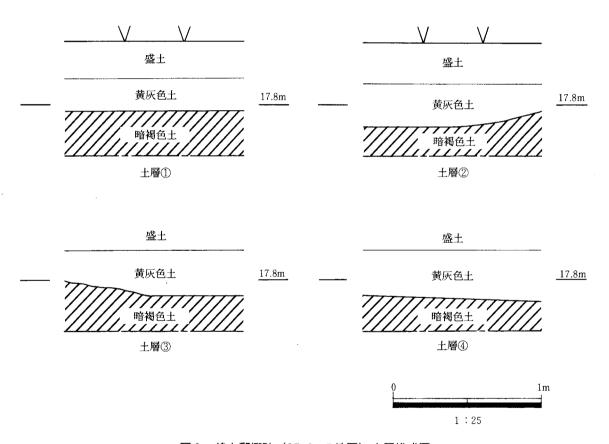


図8 嶋上郡衙跡 (35-C・D地区) 土層模式図

7. 嶋上郡衙跡 (28-N地区) の調査

調査地は高槻市清福寺町836-1番地の一部にあたり、小字名は「清福ノ内」である。現状は田である。このたび、個人住宅建設に伴い発掘調査を実施したものである。当該地は史跡指定地東北側にあたり、これまでの調査では郡衙成立以前の弥生時代から郡衙衰退以降の中世までの多量の遺構・遺物が検出されている。

調査は届出地南西部に調査区を設定し、土層の観察と遺構の確認を行った。基本的な層序は盛土(0.6m)、灰色砂礫(0.1m)、耕作土(0.1m)、灰色粘土(0.2m)、暗褐色土[0.3m]、黄褐色土[地山]である。地山面で精査を行なったが遺構は確認されなかった。また、暗褐色土が遺物包含層に相当するが遺物も検出されなかった。

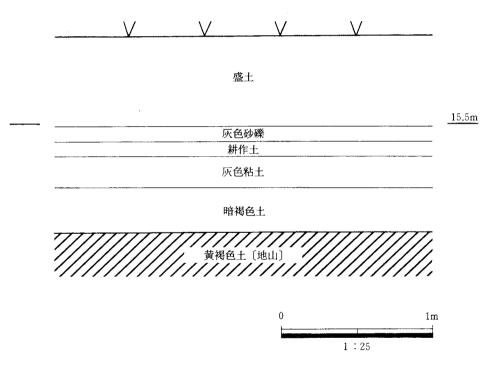


図9 嶋上郡衙跡(28-N地区)土層模式図

Ⅱ. 鴨神社跡

8. 鴨神社跡 (2004-1地区) の調査

調査地は高槻市赤大路町11-24番地にあたり、小字名は「鴨林」である。現状は宅地である。このたび、個人住宅建設に伴い工事立会を 実施したものである。

当該地は鴨神社の西側にあたり、参道をはさん だ東側の調査地(2000-A)では、奈良時代から平 安時代の柵列・溝・土坑等が検出されている。

調査は盛土等を除去した後、土層の観察と遺構の確認を行った。層序は盛土(0.65m)、暗黄褐色粘土[地山]である。地山面で精査をおこなったが、遺構・遺物は検出されなかった。



図10 鴨神社跡調査位置図

(木曽)

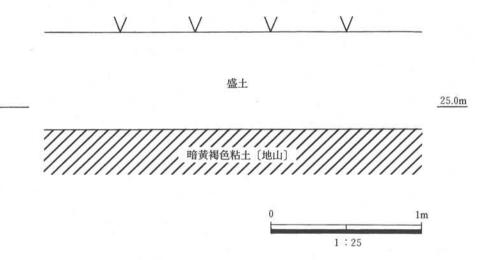


図11 鴨神社跡(2004-1)土層模式図

9. 鴨神社跡 (2004-2地区) の調査

調査地は高槻市赤大路町11-25番地にあたり、小字名は「鴨林」である。現状は宅地である。 このたび、個人住宅建設に伴い工事立会を実施したものである。

当該地も鴨神社参道の西側にあたり、東側の調査地(2000-A)で検出された奈良時代から平 安時代の遺構・遺物の拡がりについて、手がかりが得られるものと思われた。

調査は盛土等を除去した後、土層の観察と遺構の確認を行った。層序は盛土(0.6m)、暗黄褐色粘土[地山]である。地山面で精査をおこなったが、遺構・遺物は検出されなかった。(木曽)

10. 鴨神社跡 (2004-3地区) の調査

調査地は高槻市赤大路町11-23番地にあたり、小字名は「鴨林」である。現状は宅地である。 このたび、個人住宅建設に伴い工事立会を実施したものである。

当該地も鴨神社参道の西側にあたる。工事立会いを実施することにより、東側の調査地(2000-A)で検出された奈良時代から平安時代の遺構・遺物の拡がりについて確認できるものと思われた。

調査は盛土等を除去した後、土層の観察と遺構の確認を行った。層序は盛土(0.7m)、暗黄褐色 粘土[地山]である。地山面で精査をおこなったが、当該地でも遺構・遺物は検出されなかった。

(木曽)

Ⅲ. 中城遺跡

11. 中城遺跡 (2004-1地区) の調査

調査地は高槻市昭和台町一丁目107番地にあたり、小字名は「安房」である。現状は宅地である。このたび、個人住宅建設に伴い、事前に工事立会を実施したものである。

当該地は富田台地上に位置し、中城遺跡の中 央部に相当するものとみられる。工事立会いを 実施することにより、弥生時代の遺物包含層の 拡がり等を確認できるものと思われた。

立会地の土層観察を行ったが、層序は盛土 (0.4m)、暗褐色土(0.2m)、黄灰色粘土[地山]で ある。暗褐色土は周辺の調査等から遺物包含層



図12 中城遺跡調査位置図

とみられるが、土器等は検出されなかった。また、地山面で精査をおこなったが、遺構も検出 されなかった。 (木曽)

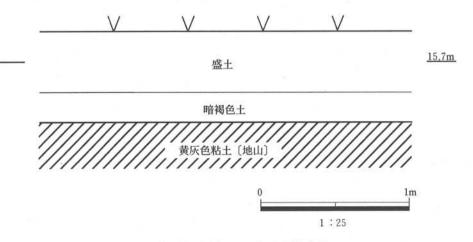


図13 中城遺跡 (2004-1) 土層模式図

Ⅳ. 郡家本町遺跡

12. 郡家本町遺跡 (2004-1地区) の調査

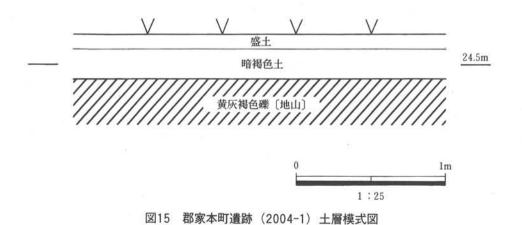
調査地は高槻市郡家本町975-1番地他にあたり、小字名は「東垣内」である。現状は宅地である。このたび、個人住宅建設に伴い工事立会を実施したものである。

当該地は嶋上郡衙跡北側に拡がる丘陵裾部 に位置する。嶋上郡衙の成立や衰退と深く関 わる遺跡であり、周辺部では弥生時代後期か ら奈良・平安時代の遺構・遺物が検出されて おり、その拡がりについて確認できるものと 思われた。 12 12 0 100m 1:5000

図14 郡家本町遺跡調査位置図

調査は盛土等を除去した後、土層の観察と

遺構の確認を行った。層序は盛土(0.1m)、暗褐色土(0.2m)、黄灰褐色礫[地山]である。地山面で精査をおこなったが、遺構・遺物は検出されなかった。 (木曽)



-10-

V. 郡家今城遺跡

13. 郡家今城遺跡 (2004-1地区) の調査

調査地は高槻市今城町17-3番地にあたり、 小字名は「鳥黒」である。現状は宅地である。こ のたび、個人住宅建設に伴い発掘調査を実施し たものである。

当該地は府立三島高校南西部に位置し、周辺 部では国府型ナイフ形石器などの旧石器時代の 遺物をはじめ奈良時代から平安時代にかけての 建物跡や井戸等が検出されている。遺跡東方の 嶋上郡衙跡との緊密な関連が想定されるが、当 該地北側の発掘調査では建物跡 5 棟をはじめ井 戸、柵列等が検出されている。また、当該地西



図16 郡家今城遺跡調査位置図

側では溝、土坑等が検出されている。いずれも奈良時代を中心とする遺構であり、今回も奈良・平安時代集落の拡がりを知ることができるものと思われた。

調査は届出地に長さ4m、幅2mの調査区を設定し、重機で盛土・耕作土を除去した後、人力による掘削を行い、遺構・遺物の検出に努めた。

層序は盛土(0.7m)、耕作土(0.2m)、灰色砂質土(0.2m)、褐色土(0.2m)、灰白色粘土[地山]である。地山面で精査をおこなったところ、遺構は検出されなかった。褐色土は周辺部の調査では奈良・平安時代の土器等を含む遺物包含層であるが、当調査区で遺物類の出土は認められなかった。 (木曽)

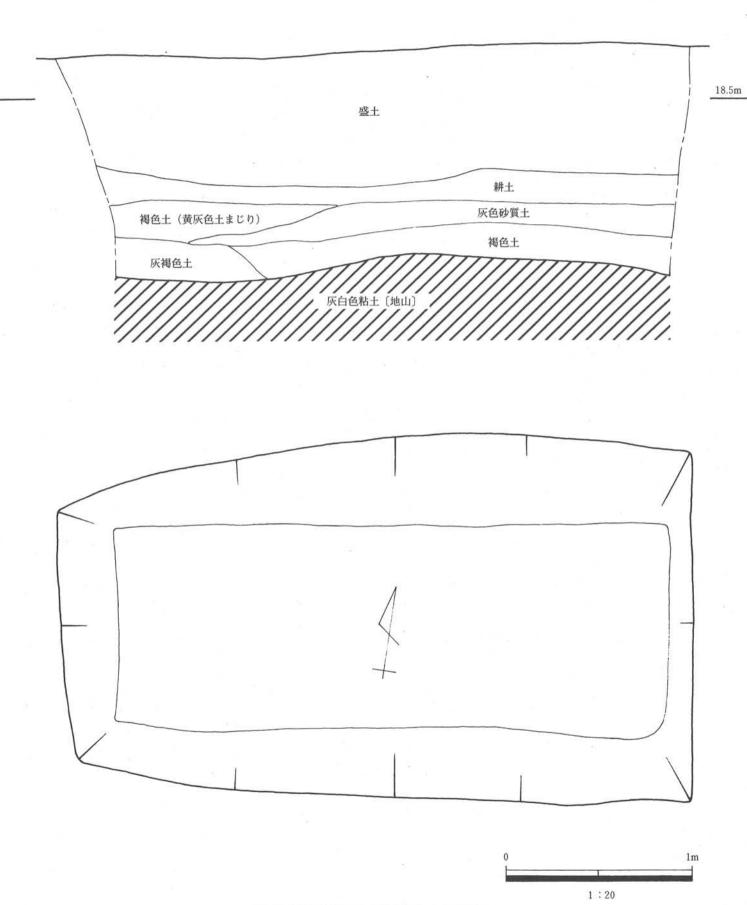


図17 郡家今城遺跡(2004-1)土層模式図

Ⅵ. 宮之川原遺跡

14. 宮之川原遺跡 (2004-1地区) の調査

調査地は高槻市宮之川原元町877-1番地に あたり、小字名は「宮ノ市」である。現状は宅 地である。このたび、個人住宅建設に伴い工 事立会を実施したものである。

当該地は式内社神服神社の西北約100mに位置する。この周辺は古代服部郷の中心とみられ、周辺部では竪穴式住居跡をはじめ、弥生時代後期から奈良・平安時代の遺物も検出されており、その拡がりについて確認できるものと思われた。

調査は盛土等を除去した後、土層の観察と



図18 宮之川原遺跡調査位置図

遺構の確認を行った。層序は盛土(0.6m)、黄灰色土(0.1m)、黄灰褐色粘土[地山]である。地山 面で精査をおこなったが、遺構・遺物は検出されなかった。 (木曽)

Ⅶ. 高槻城跡

15. 高槻城跡 (2004-1地区) の調査

調査地は高槻市野見町424-16・17番地にあたり、小字名は「不明ノ門」である。当該地は高 槻城の帯郭跡にあたり、現状は宅地である。こ のたび、個人住宅建設に伴い工事立会を実施し たものである。

調査は盛土等を除去した後、土層の観察と遺構の確認を行った。層序は盛土(1.2m)、青灰色 粘質土である。この青灰色粘質土は廃城時の埋土とみられるが、湧水が激しく作業が困難となり遺構・遺物は検出されなかった。 (木曽)



図19 高槻城跡調査位置図

哑. 天神山遺跡

16. 天神山遺跡 (2004-1地区) の調査

調査地は高槻市天神町二丁目973-13番地に あたり、小字は「東山」である。当該地は天神山 遺跡の西側尾根の東斜面に造成された開発地の 一画で、現状は宅地である。

このたび、個人住宅建設工事が計画されたため、工事立会を実施した。層序は、褐色シルト(盛土・0.25m)、明黄褐色砂質シルト(地山)であり、遺物包含層及び遺構は検出されなかった。宅地造成の際に削平されたものと判断される。 (西村)



図20 天神山遺跡調査位置図

IX. 闘鶏山古墳確認調査(第3次)

闘鶏山古墳は、平成14年の調査によって未盗掘の埋葬施設2基をそなえた古墳時代前期(4世紀前半)の前方後円墳であることが明らかとなったため、平成14年12月19日付けで国史跡の指定を受け、恒久的な保存が図られている。

高槻市では闘鶏山古墳の保存整備に向けて、継続的に確認調査を実施している。今回の第3次調査は、東西の両くびれ部と後円部の東南側・東北側・西側に8ヶ所の調査区を設定して実施した(総面積225㎡)。調査の結果、第1段目テラスを挟んで第1段(下段)・第2段(上段)の2段の斜面を検出し、前方部・後円部ともに2段築成であることが確定した。また各部の形状・規模や葺石など外表施設の状況が明らかになった。

【第1段】 後円部東側では斜面裾部の傾斜変換点を確認することにより、後円部東側裾ラインをとらえることができた。その半径は29~31.5mで、復元直径は60m前後とみられる。そして最も張り出した東部側が標高74.6mで地形的に最も低く、北側と南側に向かって上がっていくことが判明した。東くびれ部前方部側では基底石として一回り大きな石(直径約15cm)を使用していることから、古墳の裾部分が確定できるが、後円部側では東側に傾斜する斜面にやや粗い密度で分布する葺石が広がり、明確な基底石を認めることができない。

【第1段目テラス】 くびれ部では前方部側(南側)から後円部側(北側)へなだらかに上り、後円部でも北側に向かって上る傾向にあり、全体としてテラス上面は北側に高くなるスロープ状となる。幅はくびれ部で1.5~2.0mとやや広くなっているほかは、1.0~1.5mである。また西くびれ部と後円部西側では上面に直径10cm以下の礫を隙間なく敷き詰めている。

【第2段】 斜面には葺石が施され、第1段目テラスに接する後円部の最下段には一回り大きな石(直径25~30cm)を基底石として据える。前方部葺石は後円部に比べやや小ぶりの石(直径20cm以下)を使用している。また、各調査区で得られた位置関係を総合すると、後円部第2段斜面基底部の直径は約37mであること、さらに第2段基底部における東西両くびれ部の距離は約14.6mとなることが判明した。

【石敷遺構】 後円部東南側の第1段裾部に接する平坦面において、裾部から約3mの範囲に直径約15cm以下の石を敷き詰めた石敷を検出した。南北方向の範囲は不明である。

【遺物】 墳丘が崩壊して堆積した流失土から土師器片が出土した。いずれも壷形土器の頚胴部で、内外面に赤色顔料を塗布するものもみられるが、全体の形に復元できるものは無い。

今回の調査で、闘鶏山古墳の規模や形状についての基本的なデータを得ることができた。これらを将来の保存整備において十分反映できるよう、更なる検討を加えていく。 (高橋)

X. 今城塚古墳規模確認調査(第8次)

今城塚古墳は6世紀前半に築造された淀川流域最大の前方後円墳である。昭和33年2月に史跡指定を受け、平成9年度から同古墳の保存整備に必要な各部分のデータを得るため、規模確認調査を実施している。今年度の調査は、平成16年度国庫補助事業として実施した第8次規模確認調査であり、後円部上面の遺存状況などを把握するために調査区を設定した。

調査の結果

後円部南東側では、墳丘内石積・排水溝・葺石・円筒埴輪列を検出した。墳丘内石積は、盛土内に人頭大の川原石を規則的に積み上げたもので、裾は緩やかな弧状を呈していた。現存高約1.3m、斜面角度は約40度をはかり、地震や地滑りに伴う崩落や陥没が各所に見られる。裾部から南東方向へのびる排水溝1は先端部が昨年度の第7次調査で検出した葺石裾の排水溝に続くことが判明した。

排水溝1は墳丘内石積の裾からテラスまで直線状にのびる石組みの溝である。墳丘内石積の取り付き部から墳丘斜面方向に約4.5mの間はほぼ水平にのびた後、排出口に向かって約20度の傾斜で下降する。流入部は底石と側石を据えて蓋石を横架した構造で、内部には砂や砂質粘土が詰まり、底石や側石には酸化鉄が付着していた。内法は幅約35cm、高さ約25cmをはかる。

あらたに確認した排水溝2は排水溝1の8.1m南側にあり、葺石周辺部分のみ遺存していた。 排水口は葺石斜面に組み込まれた状態で、内法は幅17cm、高さ20cmをはかる。

葺石は人頭大の川原石を用い、検出長24mをはかる。裾はテラスに沿って緩やかに弧を描き、 北半部は基底石をテラス上面覆い土の中に埋め込み、南半部はテラス面から積み上げていた。

墳丘上面では地滑りによって形成された落ち込みが数条あり、斜面や底で石材がまとまっていた。葺石や墳丘内石積とは異なり、花崗岩類を多く含むのが特徴的である。また、上面一帯からは淡路島より運ばれた流紋岩の円礫が多数出土した。

後円部西側に残る高まりについては、古墳本来のものか築城時の造作かを知るために断ち割ったところ、築造当初からの盛土であることが判明した。一部に上方からの地滑り跡をとどめることから、墳頂はさらに高所にあったと考えられ、前方部よりも高くなる可能性がでてきた。

まとめ

後円部は現況で最も高い部分が当初の墳丘の一部であることが確認されたことから、本来の墳 頂はさらに2m以上も高くなることが判明し、3段築成の可能性が考えられるようになった。

また、あらたな排水溝を確認したことにより、墳丘にはこれ以外にも排水溝が設定されていた可能性が高いと考えられる。上面の石材群は墳丘内石積まで及んでおらず、石の材質も異なることから、両者は異なった目的あるいは基準のもとで施工されたと判断される。墳丘内石積と排水溝、葺石が一体のものとして確認された例はなく、大規模古墳の墳丘構造をうかがい知る貴重な資料となった。 (宮崎)

フリガナ	シマガミイセキグン					
書名	嶋 上 遺 跡 群					
副書名						
巻 次	29					
シリーズ名	高槻市文化財調査概要					
シリーズ番号	32					
編集者名	橋本久和 鐘ヶ江一朗 宮崎康雄 高橋公一 木曽 広 清水良真 西村恵祥					
編集機関	高槻市教育員会文化財課埋蔵文化財調査センター					
所 在 地	大阪府高槻市南平台五丁目21-1					
発行年月日	2005年3月					

フリカ [*] 所収遺	,	シマガミグンガ 嶋上郡衙跡 4	8- J 地区			
フリガ 所 在	*	オオサカフ タカツキシ カワ 大阪府高槻市川	ニシチョウイッチョウメ 西町一丁目953ー	19		
J -	コード		東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号					個人住宅
27207	39	34° 50′ 51″	135° 36′ 28″	20040830	立 会	建設工事
所収遺跡名	種 別	時 代	主 な 遺	構主	な遺物	特記事項
嶋上郡衙跡	官衙	奈良・平安				

フリカ [*] 所収遺	*	シマガミグンガアト 嶋上郡衙跡 3	8P地区			
フリが 所 在	,	オオサカフ タカツキシ セイ 大阪府高槻市清	フクシ゛チョウ 青福寺町919ー15			
コ -	k	北緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村 27207	遺跡番号 39	34° 50′ 54″	135° 36′ 30″	20041125	立会	個人住宅 建設工事
所収遺跡名	種別	時 代	主な遺	 構	な遺物	特記事項
嶋上郡衙跡	官衙	奈良・平安				

フリガ ナ 所収遺跡名		シマガミグンガアト 嶋上郡衙跡 6	8-A地区			
フリガ 所 在	*	オオサカフ タカツキシ カワ 大阪府高槻市川	ニシチョウイッチョウメ 西町一丁目1093-	-7		
3 -	コード		東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	0.49 = 5/ 4=//	105° 06′ 05″	20041220	- ^	個人住宅
27207	39	34° 50′ 47″	135° 36′ 27″	20041220	立会	建設工事
所収遺跡名	種 別	時 代	主 な 遺	構主	な遺物	特記事項
嶋上郡衙跡	官衙	奈良・平安				

フリカ [*] 所収遺	•	シマカ [*] ミク [*] ンカ [*] アト 嶋上郡衙跡 6	8-A地区			
フリガ 所 在	'	オオオサカフ タカツキシ カ 大阪府高槻市川	ワニシチョウイッチョウメ 西町一丁目1093-	-8		
	ř.	北緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村 27207	遺跡番号 39	34° 49′ 47″	135° 36′ 27″	20041220	立 会	個人住宅 建設工事
所収遺跡名	種別	時代	主 な 遺	構主	な遺物	特記事項
嶋上郡衙跡	官衙	奈良・平安				

フリカ゛ナ シマカ゛ミク゛ンカ゛ア 所収遺跡名 嶋上郡衙跡			5-B・C地区			
フリカ 所 在	,	オオサカフ タカツキシ ク゛ 大阪府高槻市君				
コード		北 緯	東 経	調査期	間 調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号			2004110		水路
27207	39	34° 50′ 57″	135° 36′ 15″	200411	16 $24 \mathrm{m}^2$	改修工事
所収遺跡名	種 別	時 代	主 な 遺	構	主 な 遺 物	特記事項
嶋上郡衙跡	官 衙	奈良・平安				

フリカ [*] 所収遺	*	シマガミグンガアト 嶋上郡衙跡 3	5-C・D地区			
フリカ 所 在	· ·	オオサカフ タカツキシ ク゛ 大阪府高槻市君				
コード		北 緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	0.49 =0/ ==//	1059 00/ 15//	20041117	20.2	道路
27207	39	34° 50′ 57″	135° 36′ 15″	20041222	$69 \mathrm{m}^2$	改修工事
所収遺跡名	種 別	時 代	主 な 遺	構主	な遺物	特記事項
嶋上郡衙跡	官衙	奈良・平安			瓦	

フリカ [*] 所収遺	,	シマカ゛ミク゛ンカ゛アト 嶋上郡衙跡 2				
フリカ 所 在		オオサカフ タカツキシ 大阪府高槻市8	36-1の一部			
コード		北緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50′ 57″	135° 36′ 29″	20050223	2 m²	個人住宅
27207	39	01 00 01	100 00 20	20050224	2	建設工事
所収遺跡名	種 別	時 代	主な遺	構主	な遺物	特記事項
嶋上郡衙跡	官衙	奈良・平安				

フリカ 所収遺		カモジンジャ 鴨神社跡(200	4-1)			
フリガ 所 在			オサカフ タカツキシ アカオオジチョウ ト阪府高槻市赤大路町11-24			
コ ー	F	北 緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村 27207	遺跡番号 132	34° 50′ 08″	135° 35′ 13″	20040927	立会	個人住宅 建設工事
所収遺跡名	種別	時代	主な遺	構 主	な遺物	特記事項
鴨神社	集落	奈良・平安				

フリガ゛ナ カモシ゛ンシ゛ャ 所収遺跡名 鴨神社跡 (200			4-2)			
フリガ 所 在		オオサカフ タカツキシ アカ 大阪府高槻市カ	rオオジチョウ ト大路町11-25			
3 -	7	北緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号				d d	個人住宅
27207	132	34° 50′ 08″	135° 35′ 13″	20041020	立会	建設工事
所収遺跡名	種 別	時 代	主な遺	構主	な遺物	特記事項
鴨神社	集落	奈良・平安				

フリカ 所収遺	•	カモジンジャ 鴨神社跡(200	4-3)			
フリカ 所 在		オオサカフ タカツキシ アカ 大阪府高槻市の				
コ -	k	北緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	04° 50′ 00″	1000 001 10"	20041021	立会	個人住宅
27207	132	34° 50′ 08″	135° 36′ 13″	20041021	工 云	建設工事
所収遺跡名	種 別	時 代	主な遺	構 主	な遺物	特記事項
鴨神社	集落	奈良・平安				

フリガ゛ナ 所収遺跡名		チュウジョウ 中城遺跡(200	4-1)			
, , , ,	フリカ゛ナ オオサカフ タカツキシ 3 所 在 地 大阪府高槻市			7		
コード		北緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 49′ 32″	135° 35′ 23″	20050214	立会	個人住宅 建設工事
27207 所収遺跡名	47 種 別	時代	主な遺	構 主	な遺物	特記事項
中城	集落	中世				

フリカ 所収遺	•	グンゲホンマチ 郡家本町遺跡(2004-1)				
フリカ 所 在	•	オオサカフ タカツキシ ク゛ンケ゛ホンマチ 大阪府高槻市郡家本町975-1他				
3 -	k	北緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村 27207	遺跡番号 38	34° 51′ 08″	135° 36′ 15″	20041108	立会	個人住宅 建設工事
所収遺跡名	種別	時 代	主な遺	構主	な遺物	特記事項
郡家本町	集落	弥 生				

フリガ 所収遺	•	グンゲイマシロ 郡家今城遺跡				
フリガ 所 在	•	オオサカフ タカツキシ 仁大阪府高槻市				
3 -	コード		東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号		10=9 05/ 55"	00041004	0 2	個人住宅
27207	42	34° 50′ 31″	135° 35′ 57″	20041004	8 m ²	建設工事
所収遺跡名	種 別	時 代	主な遺	構主	な遺物	特記事項
郡家今城	集落	奈良・平安				

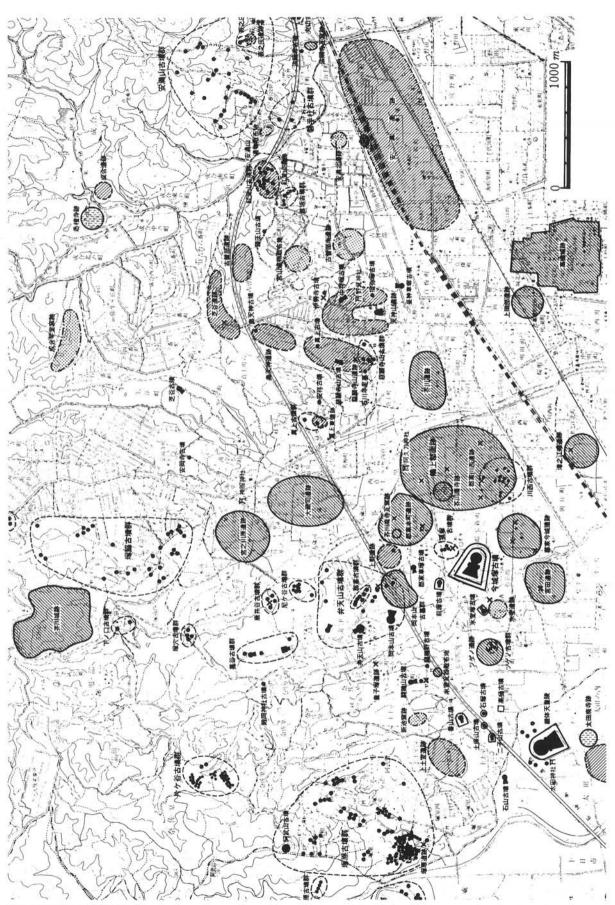
7 リ ガ ナ ミヤ/カワラ 所収遺跡名 宮之川原遺跡			(2004-1)			
フリカ 所 在	•	オオサカフ タカツキシ ミヤノカワラモトマチ 大阪府高槻市宮之川原元町877-1				
3 -	F	北緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村 27207	遺跡番号 57	34° 51′ 49″	135° 36′ 06″	20041222	立 会	個人住宅 建設工事
所収遺跡名 宮之川原	種 別 集 落	時 代 弥 生	主な遺	構主	な遺物	特記事項

フリカ 	,	タカッキジョウ 高槻城跡(2004-1)				
フリカ 所 在	ナ 地	オオサカフ タカツキシ ノミチョウ 大阪府高槻市野見町424-16·17				
J –	ド・・	北 緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号					個人住宅
27207	85	34° 50′ 29″	135° 37′ 22″	20040730	立会	建設工事
所収遺跡名	種 別	時 代	主な遺	構主	な遺物	特記事項
高槻城	城 跡	中世・近世				

	7 リ ガ ナ		(004-1)			
フリガ 所 在	*	オオサカフ タカツキシ テンシ ンチョウニチョウメ 大阪府高槻市天神町二丁目973-13				
3 –	k	北 緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村 27207	遺跡番号 70	34° 51′ 12″	135° 37′ 07″	20041115	立 会	個人住宅 建設工事
所収遺跡名 天神山	種 別 集 落	時 代 弥 生	主 な 遺	構主	な遺物	特記事項

図 版





嶋上郡衙跡とその周辺





a. 嶋上郡衙跡 (35-B・C地区) 全景 西側から

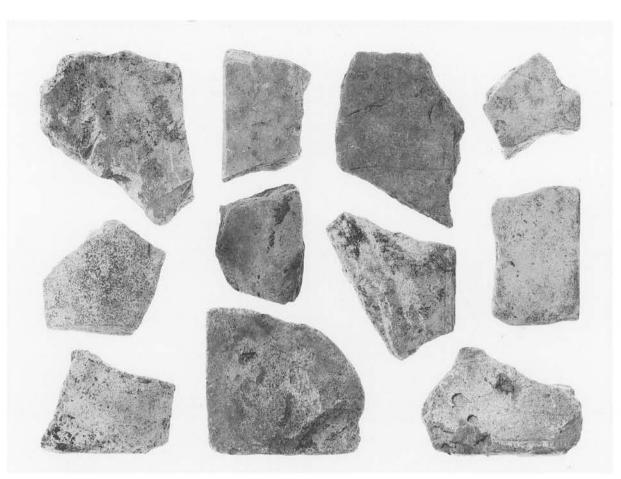
b. 東側から



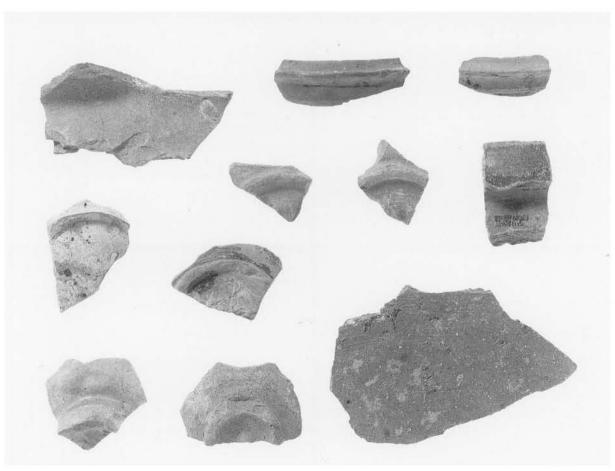
c. 嶋上郡衙跡 (35-C・D地区) 全景 西側から



d. 東側から



a. 嶋上郡衙跡(35-C·D地区) 出土遺物



b. 嶋上郡衙跡 (35-C·D地区) 出土遺物



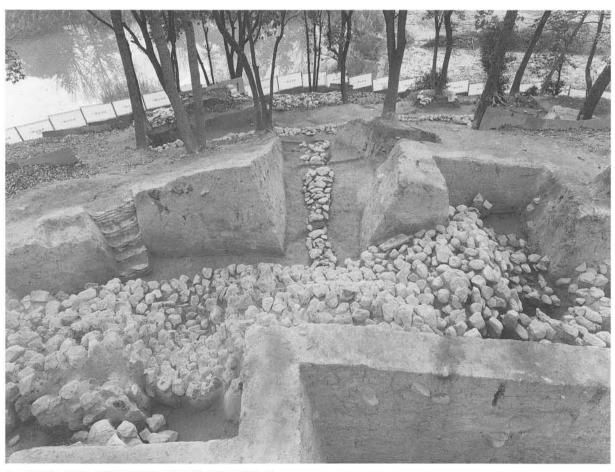
a. 闘鶏山古墳 東くびれ部 (南側から)



b. 闘鶏山古墳 後円部西側第1段目テラス・第2段斜面 (北西側から)



a. 今城塚古墳 葺石・排水溝 (東側から)



b. 今城塚古墳 墳丘内石積・排水溝(北西側から)

高槻市文化財調査概要 32

嶋 上 遺 跡 群 29

平成 17 年 3 月 31 日

発 行 高 槻 市 教 育 委 員 会 文化財課 埋蔵文化財調査センター 高槻市南平台五丁目21番1号

印 刷 株式会社 邦 文 社 大阪市東淀川区大桐1丁目4番9号